

事務連絡  
平成 27 年 10 月 14 日

各市町村、政令市及び特別区  
母子保健主管課 保健師 様

全国保健師長会会長 鎌田久美子  
健やか親子特別委員会委員長 戸矢崎悦子

乳幼児健康診査における必須問診項目の追加に伴う自治体の取り組み状況に  
関するアンケート調査の実施について（依頼）

時下 ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

本会は、都道府県や市町村等行政に勤務する保健師リーダーの連携と資質向上を目的に活動しております。

さて、昨年 11 月 12 日に厚生労働省機会均等・児童家庭局母子保健課から「「健やか親子 21(第 2 次)」の指標及び目標の決定並びに今後の調査方法について」、本年 2 月 16 日には「「健やか親子 21(第 2 次)」に基づく調査に関する Q&A の送付について」が事務連絡され、乳幼児健診の必須問診項目に 15 項目を追加したこと、準備が整い次第各自治体でデータの収集・集計を始めることとされました。

これに対し、本会、日本看護協会、全国保健所長会等 14 団体は、本年 6 月 2 日に市区町村が行う乳幼児健診の必須問診項目とされた児童虐待に関する項目について「虐待予防のための正確なデータ収集は重要と理解するが、児童虐待の回答項目の文言があまりにも直接的」として、現場の声を反映させたバージョンアップを要望したところです。

そこで、必須問診項目（児童虐待に関する項目中心に）の追加に関して、各自治体の実態と意見を把握し、バージョンアップの資料として活用させていただきたく、アンケート調査を実施することとしましたので、趣旨を御理解いただき御協力くださるようお願い申し上げます。

また、各都道府県にもアンケート調査をお願いしておりますので、御承知おきください。

なお、利用の際には、自治体名、個人名等が特定されないよう、プライバシーの保護を厳守いたします。

調査結果につきましては、全国保健師長会のホームページに掲載するとともに、バージョンアップのための資料として厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課に提出予定であることを御承知おき願います。

問合せ先 全国保健師長会すこやか親子特別委員会委員長 戸矢崎悦子  
横浜市神奈川福祉保健センターこども家庭支援課 電話 045-411-7137

送付先 [et00-toyazaki@city.yokohama.jp](mailto:et00-toyazaki@city.yokohama.jp)

提出期限 平成 27 年 10 月 26 日（月）

送付内容 ①依頼文（本状）  
②アンケート及び記載例（参考：都道府県向けアンケートを添付）  
③参考資料 要望書（写）及び事務連絡（厚労省児童家庭局母子保健課）抜粋  
その他 アンケートのファイル名は、例を参考に行政名に変更してご返送ください。  
例)【〇〇市】【△△町】【◇◇区】乳幼児健診必須問診項目調査

## 乳幼児健康診査における必須問診項目の追加に伴う 自治体の取り組み状況に関するアンケート調査

平成26年11月26日に厚労省からの事務連絡を受理後の乳幼児健康診査の対応状況についてお伺いします。

あてはまる内容を選択し、必要時、意見をお書きください。

- 1 現時点での対応状況について、あてはまるもの1つに「1」を選択してください。

(1)システム(乳幼児健診の結果などを管理する)の改修について

質問項目	回答欄
ア 実施済	
イ 平成27年度内に改定予定	
ウ 平成28年度以降に改定予定	
エ 実施の有無も含めて検討中	

(2)問診内容の改定(通知文の内容を反映した問診内容)について

質問項目	回答欄
ア 実施済み(一部のみも含む)	
イ 平成27年度内に改定予定	
ウ 平成28年度以降に改定予定	
エ 実施の有無も含めて検討中	

→ 問2へ

問4へ

- 2 問診内容の改定を実施済み(※注:1(2)アを選択)と答えた方のみ伺います。

(1)各乳幼児健診の実施体制についてあてはまる内容を選択してください。

- ・「委託」を選択された場合には、委託先をお書きください。(例)「○医師会, ▲病院, 他4医療機関」
- ・「その他」を選択された場合には、実施体制、方法等をお書きください。

乳幼児健康診査	回答欄	委託先, その他の体制・方法等についての詳細
4か月		
1歳6か月		
3歳		

(2)問診に指標14「子どもを虐待していると思う親の割合」(※注1)を入れてありますか。あてはまるものに「1」を選択してください。

	回答欄
ア 実施済み	
イ 未実施	
ウ 今後、実施予定	

→ 問3(1)へ

問4へ

※注1: 指標14「子どもを虐待していると思う親の割合」を把握する問診項目

指標14の問診項目	3・4か月児	1歳6か月児	3歳児
1 しつけのし過ぎがあった	○	○	○
2 感情的にたたいた	○	○	○
3 乳幼児だけを家に残して外出した	○	○	○
4 長時間食事を与えなかった	○	○	○
5 感情的な言葉で怒鳴った	○	○	○
6 子どもの口をふさいだ	○	○	—
7 子どもを激しく揺さぶった	○	○	—

3 問診に指標14「子どもを虐待していると思う親の割合」を実施済み(※注:2(2)アを選択)と答えた方のみ伺います。

(1)問診に記載後の保護者の反応についてあてはまるもの一つに「1」を選択してください。

	回答欄	
あり		→問3(2)へ
なし		→問3(3)へ

(2) 保護者からの反応を具体的にお書きください。

(3)実施側(主に保健師)で、課題と感じられることがありますか。

課題と感じることがある場合、あてはまるものすべてに「1」を、その他についてはお書きください。

	回答欄	
あり		→問3(4)へ
なし		

課題と感じられること		回答欄
問診項目の増加は、記載内容など聞き取りや確認に時間を要し、保護者の不満や不快感を与えるおそれがある。		
質問の表現に不安がある。対象者との信頼関係を損なう危惧がある。		
回答へのフォローが、対応した者の判断に委ねられる不安がある。		
支援体制の変更がないまま、聞き取りを広げることの不安がある。		
その他		

(4)実施後、良かった点(保護者からの反応も含む)がありましたら、お書きください。

- 4 問診項目(指標14「子どもを虐待していると思う親の割合」)に関するご意見(課題、不安など)について、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、下記の情報を記載し、**10/26(月)まで**にご返送ください。

回答者	市・町・村・区名	
	担当課名	
	担当者名	
	電話番号	
	メールアドレス	

## 乳幼児健康診査における必須問診項目の追加に伴う 自治体の取り組み状況に関するアンケート調査

平成26年11月26日に厚労省からの事務連絡を受理後の乳幼児健康診査の対応状況についてお伺いします。

あてはまる内容を選択し、必要時、意見をお書きください。

1 現時点での対応状況について、あてはまるもの1つに「1」を選択してください。

(1)システム(乳幼児健診の結果などを管理する)の改修について

質問項目	回答欄
ア 実施済	
イ 平成27年度内に改定予定	
ウ 平成28年度以降に改定予定	1
エ 実施の有無も含めて検討中	

(2)問診内容の改定(通知文の内容を反映した問診内容)について

質問項目	回答欄	
ア 実施済み(一部のみも含む)	1	→ 問2へ
イ 平成27年度内に改定予定		} 問4へ
ウ 平成28年度以降に改定予定		
エ 実施の有無も含めて検討中		

2 問診内容の改定を実施済み(※注:1(2)アを選択)と答えた方のみ伺います。

(1)各乳幼児健診の実施体制についてあてはまる内容を選択してください。

- ・「委託」を選択された場合には、委託先をお書きください。(例)「○医師会, ▲病院, 他4医療機関」
- ・「その他」を選択された場合には、実施体制、方法等をお書きください。

乳幼児健康診査	回答欄	委託先, その他の体制・方法等についての詳細
4か月	直接	
1歳6か月	委託	市内の医療機関(医師会に所属する診療所、病院)に委託実施
3歳	直接	

(2)問診に指標14「子どもを虐待していると思う親の割合」(※注1)を入れてありますか。あてはまるものに「1」を選択してください。

	回答欄	
ア 実施済み	1	→問3(1)へ
イ 未実施		} 問4へ
ウ 今後、実施予定		

※注1: 指標14「子どもを虐待していると思う親の割合」を把握する問診項目

指標 14 の問診項目	3・4か月児	1歳6か月児	3歳児
1 しつけのし過ぎがあった	○	○	○
2 感情的にたたいた	○	○	○
3 乳幼児だけを家に残して外出した	○	○	○
4 長時間食事を与えなかった	○	○	○
5 感情的な言葉で怒鳴った	○	○	○
6 子どもの口をふさいだ	○	○	—
7 子どもを激しく揺さぶった	○	○	—

3 問診に指標14「子どもを虐待していると思う親の割合」を実施済み(※注:2(2)アを選択)と答えた方のみ伺います。

(1)問診に記載後の保護者の反応についてあてはまるもの一つに「1」を選択してください。

	回答欄	
あり	1	→問3(2)へ
なし		→問3(3)へ

(2) 保護者からの反応を具体的にお書きください。

・保護者から「これに〇をつけると虐待していることになるのですか？」と質問があったことがある。

(3)実施側(主に保健師)で、課題と感じられることがありますか。

課題と感じることがある場合、あてはまるものすべてに「1」を、その他についてはお書きください。

	回答欄	
あり	1	→問3(4)へ
なし		

課題と感じられること	回答欄
問診項目の増加は、記載内容など聞き取りや確認に時間を要し、保護者の不満や不快感を与えるおそれがある。	1
質問の表現に不安がある。対象者との信頼関係を損なう危惧がある。	1
回答へのフォローが、対応した者の判断に委ねられる不安がある。	1
支援体制の変更がないまま、聞き取りを広げることの不安がある。	1
その他	

・保護者への説明や伝え方等対応の仕方に苦慮している。健診は臨時職員も従事しているおり、スタッフの聞き取りやその対応についての精査も必要ではないか。

(4)実施後、良かった点(保護者からの反応も含む)がありましたら、お書きください。

・あいまいな表現ではなく、具体的な表現なので、保護者が子育てを振り返り回答してくれている印象がある。発育・発達の遅れはなくても、子どもとの関係性が築きにくい保護者の特質等、支援が必要な保護者の把握に役立っていると感じる。

4 問診項目(指標14「子どもを虐待していると思う親の割合」)に関するご意見(課題、不安など)について、ご自由にお書きください。

- ・健診の問診内容や状況を児童福祉部門にどのように情報提供していくべきか、判断や対応が難しい。
- ・虐待の直接的な問診項目であり、保護者の不安感が強まったり不信感を与えないか危惧している。また、保護者への状況確認等も慎重に対応している。虐待している保護者はあえて答えないと思われる。
- ・支援側としては、この問診項目をきっかけに保護者の支援をしたいと思うが、どのような声かけがよいか迷う。育児の大変さに対するねぎらいがよいのか、共感がよいのか、アプローチの難しさを感じている。

ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、下記の情報を記載し、**10/26(月)まで**にご返送ください。

回答者	市・町・村・区名	●●市
	担当課名	子育て支援課
	担当者名	○○○○
	電話番号	(○○○○)■■■-○○○○
	メールアドレス	○○○○@city.○○○.jp



平成 27 年 6 月 2 日



厚生労働省雇用均等・児童家庭局  
母子保健課長 一瀬 篤様

公益社団法人 日本看護協会  
会長 坂本 すが



全国保健所長会  
会長 宇田 英典



公益社団法人 日本小児科学会  
会長 五十嵐 隆



公益社団法人 日本小児保健協会  
会長 岡田 知雄



公益社団法人 日本小児科医会  
会長 松平 隆光



日本小児期外科系関連学会協議会  
会長 金子 道夫



日本子ども虐待医学会  
会長 市川 光太郎



公益社団法人 日本助産師会  
会長 岡本 喜代子



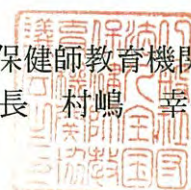
一般社団法人 日本助産学会  
理事長 高田 昌代



全国保健師長会  
会長 鎌田 久美子



一般社団法人全国保健師教育機関協議会  
会長 村嶋 幸代





一般社団法人日本産業保健師会  
会長 大神 あゆみ

一般社団法人日本公衆衛生看護学会  
会長 佐伯 和子

日本保健師活動研究会  
会長 平野かよ子



## 乳幼児健康診査における虐待関連の必須問診項目及び実施等に関する要望

先般発出された、「健やか親子21（第2次）」の指標並びに目標の決定並びに今後の調査方法について（平成26年11月12日：事務連絡）」においては、乳幼児健康診査（以下、健診）において虐待に関する問診を必須とする旨が通知されています。確かに虐待予防の取り組みに関する指標の正確なデータ収集は重要です。しかし保健師や助産師の子ども虐待家庭および虐待が危惧される家族に対する支援活動の現場経験から考えますと、示されている問診（とくに指標14）の各文言はあまりにも直接的であり、虐待している親の被害的不安を掻き立て、しばしば用いる「否認機制」を誘発強化し、その虐待行為をかえって把握困難としかねないことが懸念されます。

また、現に虐待を行うには至っていないものの、様々の育児困難状況に陥っているより多くの母親たちが、自らの育児行為の不適切性を「虐待」という視点からのみ正邪判定される不安を抱く可能性も考慮に入れなくてはなりません。母子保健における虐待予防とは「指導ではなく支援」による実践を基軸としていますが、こうした問診によって、本来支援者が築くべき「本音を語り合える細やかな信頼関係」が「評価され指導される監視的關係」にすり替わることを危惧いたします。今後、現場で使用される問診項目について現場からの意見を聴取し、変更の可能性が高いと判断される場合には、問診項目のバージョンアップを図ることが必要と考えます。

これら諸事情に鑑み、次の事項につきまして強く要望いたします。

### 要 望 事 項

乳幼児健康審査における虐待関連の必須問診項目及び実施に関しては、母子保健の中で行われる乳幼児健診の本来の趣旨を理解した上で、対象となる子どもの親たちとの信頼関係構築を阻害しないように、現場からの意見も聴取し、バージョンアップを図る機会を設けられたい。

事務連絡  
平成27年2月16日

各  
〔都道府県  
政令市区〕  
母子保健主管部（局）御中

厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課

「健やか親子21（第2次）」に基づく調査に関するQ&Aの送付について

母子保健行政及び「健やか親子21」の推進につきましては、かねてより格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

平成26年11月12日厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課事務連絡「「健やか親子21（第2次）」の指標及び目標の決定並びに今後の調査方法について」において、「健やか親子21（第2次）」で設けた新たな指標に関する調査方法等をお示したところ、複数の地方公共団体よりご質問をいただいたところです。

つきましては、調査の準備や実施をしていただくに当たり参考としていただきたく、今般、別紙「「健やか親子21（第2次）」に基づく調査に関するQ&A」を作成いたしましたのでご了知いただくとともに、管内保健所等の関係部局に対して広く周知していただき、また各都道府県におかれましては管内市町村に対して広く周知していただきますようお願いいたします。

別紙1 「健やか親子21（第2次）」に基づく調査に関するQ&A

別紙2 母子保健事業に係る実施状況調査の追加報告様式  
(乳幼児健康診査必須問診項目について)(市町村用)

【問い合わせ先】

厚生労働省雇用均等・児童家庭局  
母子保健課 小林・米倉  
TEL：03-5253-1111（内線7934）

指標名	設問	調査対象者	回答項目	データ入力欄
14. 子どもを虐待していると思われる親の割合	この数か月の間に、ご家庭で以下のことがありましたか。あてはまるものすべてに○を付けて下さい。	ア. 3・4か月児	①「1. しつけのし過ぎがあった」の回答者数 ②「2. 感情的に叩いた」の回答者数 ③「3. 乳幼児だけを寮に残して外出した」の回答者数 ④「4. 長時間食事を与えなかった」の回答者数 ⑤「5. 感情的な言葉で怒鳴った」の回答者数 ⑥「6. 子どもの口をふさいだ」の回答者数 ⑦「7. 子どもを激しく揺さぶった」の回答者数 ⑧「8. いずれも該当しない」の回答者数 ⑨無回答者数 ⑩①から⑧の選択肢をいずれか1つでも回答した者の数 ⑪全回答者数=⑧+⑩ ⑫①から⑧の選択肢をいずれか1つでも回答した者の数/全回答者数×100=⑩/⑪×100(%)	
		イ. 1歳6か月児	①「1. しつけのし過ぎがあった」の回答者数 ②「2. 感情的に叩いた」の回答者数 ③「3. 乳幼児だけを寮に残して外出した」の回答者数 ④「4. 長時間食事を与えなかった」の回答者数 ⑤「5. 感情的な言葉で怒鳴った」の回答者数 ⑥「6. 子どもの口をふさいだ」の回答者数 ⑦「7. 子どもを激しく揺さぶった」の回答者数 ⑧「8. いずれも該当しない」の回答者数 ⑨無回答者数 ⑩①から⑧の選択肢をいずれか1つでも回答した者の数 ⑪全回答者数=⑧+⑩ ⑫①から⑧の選択肢をいずれか1つでも回答した者の数/全回答者数×100=⑩/⑪×100(%)	
		ウ. 3歳児	①「1. しつけのし過ぎがあった」の回答者数 ②「2. 感情的に叩いた」の回答者数 ③「3. 乳幼児だけを寮に残して外出した」の回答者数 ④「4. 長時間食事を与えなかった」の回答者数 ⑤「5. 感情的な言葉で怒鳴った」の回答者数 ⑥「6. いずれも該当しない」の回答者数 ⑦無回答者数 ⑧①から⑤の選択肢をいずれか1つでも回答した者の数 ⑨全回答者数=⑥+⑧ ⑩①から⑤の選択肢をいずれか1つでも回答した者の数/全回答者数×100=⑧/⑨×100(%)	
15. 乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合	赤ちゃんが、どうしても泣き止まない時などに、赤ちゃんの頭を前後にガクガクするほど激しく揺さぶることによって、脳障害が起きること(乳幼児揺さぶられ症候群)を知っていますか。	3・4か月児	①「1. はい」の回答者数 ②「2. いいえ」の回答者数 ③無回答者数 ④全回答者数=①+② ⑤「1. はい」の回答者数/全回答者数×100=①/④×100(%)	